

原爆の恐ろしさ

半田市立半田中学校 2年 木村颯希

1 広島平和ツアーに参加したきっかけ

私は日本人として広島、長崎で起こった原爆のことは知っておかなければいけないことだと思っています。普段からテレビや新聞で原爆のことについて目にしていました。そして時々自分で調べることもありました。そんな中、広島研修のことを耳にし、実際に原爆ドームを見たい、当時の状況について知りたいと思いました。

2 原爆ドーム・資料館で学んだこと

原爆ドームを前にした時、とても衝撃を受けました。とても大きな原爆ドームのほとんどが壊れていて、崩れたレンガが周りに落ちていて、ぐねりと曲がった支柱、鉄骨だけになったドーム。原爆の威力を見せつけているような姿でした。



資料館では、原爆が投下された時の写真や人々の遺品などがそのまま残されていました。その中には私よりも小さい子供の服や片方しかない靴、鞆が置いてありました。それらの物はボロボロで汚れていました。私は言葉を失いました。私よりも小さな子が母親と離れてしまい、1人で原爆から逃げようと靴がなくなっても必死に走って、「何とか生きたい」という気持ちで一生懸命に逃げていたのでないかと思いました。とても心が苦しくなりました。

3 学んだことを活かして

私はこの広島研修で原爆の恐ろしさや当時の人々の状況など知らないことをたくさん知ることができました。私たちが住んでいる場所は広島からとても遠いため、広島のことを知らない人もいるかもしれません。だから、私が広島研修で学んだことを同級生や家族などたくさんの人に伝えていきたいです。そして、原爆で亡くなってしまった人もたくさんいます。私はその人たちの分まで、1日1日を大事に、家族や友達、近所の人たちと過ごせる時間を大切に、楽しく生きようと思いました。